

かかみがはらの埋文

平成 20 年度

各務原市埋蔵文化財調査センター一年報 第 17 号

埋文センター 夏の体験講座「勾玉づくり」大盛況！

開催日 / 8月7日・8月21日



「^{まがたま}勾玉づくり講座」は、埋蔵文化財調査センター恒例の夏の体験講座です。今年度は60数名の方が参加され、自分だけのオリジナル勾玉を作りました。

今年はクラフトストーンで作った勾玉に、^{ほいこう}蛍光ペンで色をつけました。センターで用意した蛍光ペンはピンクと黄色の2色だけでしたが、綺麗な色になった勾玉に、子どもたちも喜んでくれたようです。

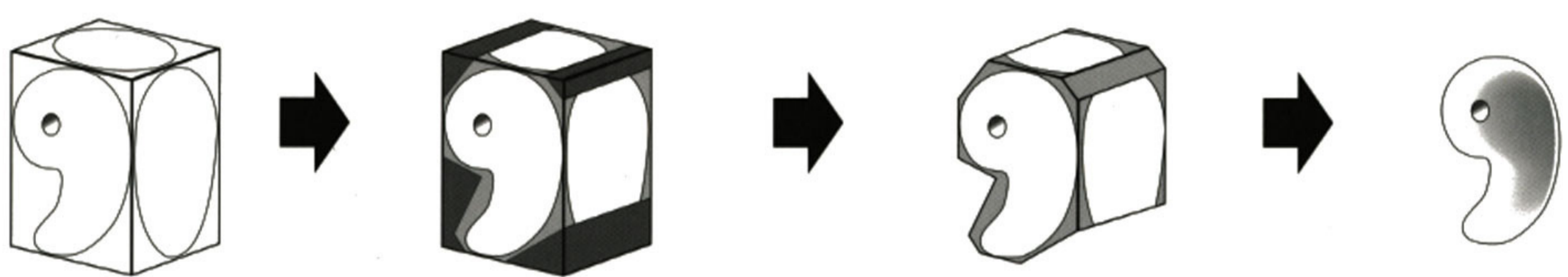
また、「勾玉づくり講座」と同時に、「火おこし体験」も行いました。こちらも多くの方に参加していただき、子どもたちは昔の火おこしの大変さを実感していました。

勾玉の作り方

クラフトストーン（工作しやすい軟らかい石）を使った、勾玉の作り方

- ①クラフトストーンに、キリなどで紐を通す穴を開けます（当講座では、あらかじめ穴を開けておいたクラフトストーンをお渡ししています）。勾玉の輪郭を描きます。この石は簡単に削れてすぐに小さくなってしまいますので、大きめに絵を描いておくといよいでしょう。
- ②材料のいらぬ部分を、一番目の粗いサンドペーパーで削ってしまいます。①で描いた輪郭の形になるまで石を削ったら、引き続き同じサンドペーパーで、面取り（角の部分をとす）し、丸みをつけます。同時に、自分の作りたい勾玉をイメージして、形を整えます。
- ③形ができたら、二番目に目の粗いサンドペーパーで、大きな傷を取ります。ここで最終的な勾玉の形を決定しましょう。
- ④最後に、一番目の細かいサンドペーパー（耐水）で、水をつけながら磨きます。小さな傷が取れて、ピカピカになったら勾玉の完成です。

①輪郭を描く ②輪郭まで削り、丸みをつける ③大きな傷を取り、形を整える ④水をつけながら磨く



《材料・道具》 ★キリ ★皮紐 ★クラフトストーン
★サンドペーパー（3種類） #40・#240・#1200（耐水）

勾玉が完成したら、蛍光ペンで色をつけたり、染料で好きな色に染めたりすると、白いままの時とはまた違った雰囲気になります。ぜひ試してみてください。



蛍光ペン使用例（黄・ピンク）



染料使用例（赤・青・黄・緑・紺）

クラフトストーンやサンドペーパー、皮紐は、文房具屋などで注文して購入することができます。

ここで説明した作り方は、当センターで行っている方法です。クラフトストーンの大きさや勾玉の形などに特に決まりはありません。材料を手に入れたら、いろいろな大きさに石を切るなどして、自分だけのオリジナル勾玉を作ってみましょう。

今年初の開催「ドキ土器拓本講座」

今年初めて開催した「ドキ土器拓本講座」では、市内の遺跡から出土した本物の土器や瓦を使って、整理作業の1つである「拓本」を体験していただきました。

まずは比較的扱いやすい須恵器の拓本採りから慣らし、次に縄文土器、軒丸瓦と、順番に挑戦しました。最初は和紙を土器などに貼り付けたり、墨を均一の濃さにするのに一苦勞でしたが、少しずつコツをつかんでいただき、作業自体も楽しんでもらえたようです。

最終的には、自分で採った拓本を台紙に載せてラミネート加工し、思い思いの作品に仕上げました。



作品例



展示室見学

今年度は市内のみならず、市外・県外からも多くの団体が展示室・整理室の見学に訪れました。市内の小・中学生は郷土の歴史を、市外・県外の方たちには、特に古代において重要な地域であった”各務原市”を知っていただく、よい機会となりました。

埋蔵文化財調査センター展示室では、市内の遺跡から出土した遺物を展示・公開しているほか、市の歴史を題材にしたビデオ上映も行っています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



木曾川学歴講座

続・かかみ野古代史紀行

今年度から、歴史講座「続・かかみ野古代史紀行」をスタートさせました。

平成20年度 テーマ：古墳（墓）が語る考古学～巨大古墳出現の前後～

- 10月9日「古墳の出現と前方後方墳」
（財）愛知県教育・スポーツ振興財団
愛知県埋蔵文化財センター 赤塚次郎氏
- 10月23日「古墳群と首長系譜～西濃 不破古墳群からの解釈～」
大垣市教育委員会 中井正幸氏
- 11月6日「群集墳成立の背景」
池田町教育委員会 横幕大祐氏

かかみ野古代史紀行
講義録2～9
好評頒布中 各500円

これまでの「かかみ野古代史紀行」の続編として、より深い内容で地域の考古学を探っていきます。

職場体験の受入れ



市内外の中学校・高等学校から13名の生徒を受入れました。

主な作業は遺物の水洗いや拓本でした。一見簡単そうに見えた作業も、かなり細かく神経を使うことが分かり、仕事の大変さを実感したようです。

職場体験を通して、考古学により深く興味を持った生徒さんも多くいました。

発掘調査報告書刊行

ひろはたのぐち
・49号『広畑野口遺跡B地区発掘調査報告書』

平成14年度のA地区に引き続き、平成15年度に発掘調査を実施しました。

室町時代から江戸時代にかけて造られた複数の溝を検出。また、同時代の井戸跡も確認し、これらに接して生活の場があったことが想像されます。ほかに、須恵器・山茶碗・かわらけ・瓦などが出土しています。

頒布価格 1,600円

出土遺物整理作業

- ・広畑野口遺跡B地区（蘇原野口町他）
- ・山田寺跡範囲確認調査（蘇原寺島町）

「かかみがはらの埋文」第17号 平成21年3月発行

各務原市埋蔵文化財調査センター
〒504-0911 岐阜県各務原市那加門前町3-1-3
各務原市立中央図書館3階
TEL 058(383)1123 FAX 058(371)1145
<http://www.city.kakamigahara.lg.jp/maibun>